

学校経営方針

◇ 学校教育目標

明るく素直で思い合う心を持ち、主体的に実践する心身ともに活力のある児童を育成する。

◇ 本年度の特色ある教育活動

キーワード 「自分から」活動 子ども理解 認め合う学習 自己有用感と自己指導力

1 本年度の重点目標 ー笑顔いっぱい、優しい心がもっと響き合う学校ー

「自分から」活動の承認と、子ども理解に基づく認め合う学習を重視した授業により、児童に自己有用感と自己指導力を育成し、「活力」があり、明るくたのしい学校をつくる。

(1) 学習意欲を高め、基礎学力と考える力を伸ばす(目標の達成のために何をするのか)

- ・授業の目標とゴールを意識すること
- ・指導過程の可視化
- ・教材教具の工夫
- ・児童の自己評価と教師の見取りの工夫

(2) 豊かに感じ理解し(生活力)、深く考え(思考力)、実践する(自己指導力)

- 態度と「志」(総合力としての「活力」)を育む(学びを自分の生き方にどうつなぐのか)
- ・「西っ子いきいき学習」(自然、生命、文化・伝統)により、問題解決的学習と生き方の統合
- ・表現活動を通して、肯定的な自己形成の礎を培うこと

(3) 規範意識の定着、強く・やさしい「心」と実践力を高める。

(西っ子の一人として、人のために、自分のために何をするのか)

- ・朝、昼、放課後に「自分から」活動(ボランティア活動やチーム活動、個別相談、補充学習)
- ・「体力向上への遊び」「心を磨く無言清掃」「学習の準備」の意識化で生活習慣づくりへ
- ・互いのよさを認め合い、感謝の心で人とつながる仲間づくり

2 本年度の教育改善の視点

格差社会に生きる児童の状況を正しく知り、児童・保護者に寄り添い、社会の期待に応える。

○正しい生徒指導 ○考える授業へ改善 ○特別支援教育推進 ○人権意識の高揚

西小プライド 子どもと共に成長することを喜び、教員として働くことに誇りをもち、自ら西っ子の生き方モデルとなる。

3 学校・教職員への信頼の獲得

- ・「チーム屋島西」としての実績を上げること(学力向上、生活力向上、不登校対策)
- ・道徳授業の積み重ねと評価(ノート)、外国語科の指導力向上に全力を尽くすこと
- ・児童・保護者の意見や調査結果を誠実に受け止め、調査結果と改善方策を適切に示すこと
- ・「西小プライド」の堅持による教職員の自己規律強化と学校コンプライアンスの確立
- ・働き方改革について教職員自らが意識し、組織的・個別的に職務遂行の効率化と勤務時間の短縮に努めること(やめる・減らす・変える)
- ・学校ブログの発信(毎日)とホームページの更新(しじめ対策基本方針、学校評価等)
- ・高松型学校運営協議会の設立と学校運営についての意見交換